

2012年6月以降

ドアポケットに入れてお使いください

WRX
STI

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
WRX STI を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めて WRX STI に触れられるときにぜひご一読ください。

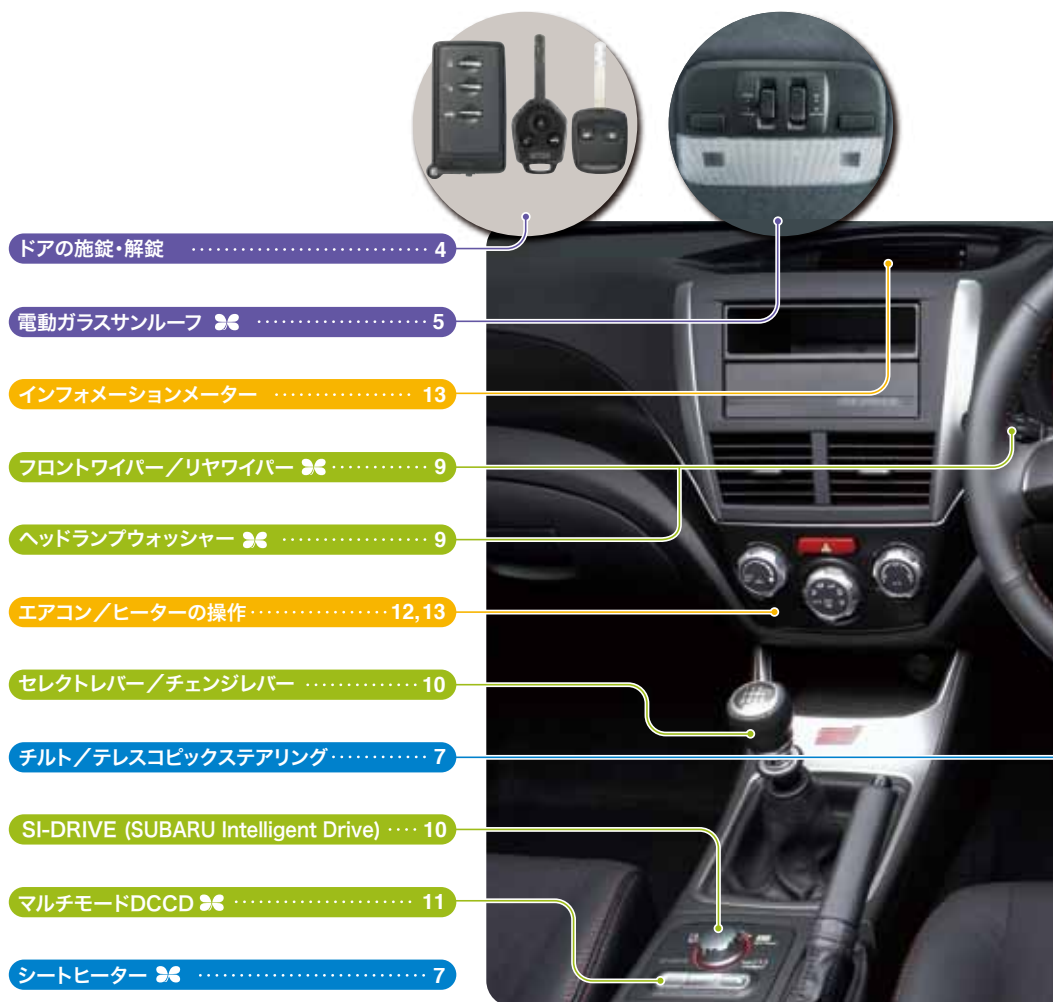


SUBARU



クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席まわり



ドアの施錠・解錠 4

電動ガラスサンルーフ 5

インフォメーションメーター 13

フロントワイパー/リヤワイパー 9

ヘッドランプウォッシャー 9

エアコン/ヒーターの操作 12,13

セレクトレバー/チェンジレバー 10

チルト/テレスコピックステアリング 7

SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive) 10

マルチモードDCCD 11

シートヒーター 7

このクイックユーザーガイドは
 基本的な操作説明を中心とした取扱説明書の抜粋版のため
 取り扱い時の注意点や詳細な説明は省略しております。
 必ず取扱説明書をご一読ください。
 ドアポケットなど取り出しやすいところに入れて
 お使いください。

★一部グレードのみに装着されている機能・装備については  マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。



メーター・表示灯・警告灯 14,15

パドルシフト  10

ライティングスイッチ/フォグランプスイッチ  9

クルーズコントロール  10

プッシュスタートシステム  8

イルミネーションコントロールダイヤル 7

マニュアルヘッドランプレベラー  7

ミラーの調整 7

VDC OFFスイッチ/
VDCモード切り替えスイッチ 11

パワーウィンドウ 5

チャイルドブローフ 5

シートの調整 6

1. 各部の開閉 P4

2. 運転する前に P6

3. 運転するとき P8

4. その他室内装備 P12

5. メーター・表示灯・警告灯 P14


6. 日常点検/困ったときは



1 各部の開閉


ドアの施錠・解錠

電波式リモコンドアロックによるドアの施錠・解錠

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと、全てのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠とトランクの解錠ができます。

 : 全てのドアおよびリヤゲートを施錠
ブザーが1回鳴り非常点滅灯(ハザードランプ)が1回点滅します。

 /  : 全てのドアおよびリヤゲートを解錠
ブザーが2回鳴り非常点滅灯(ハザードランプ)が2回点滅します。

 : トランク・リヤゲートの解錠
トランクは長押し。ブザーが2回鳴り非常点滅灯(ハザードランプ)が2回点滅します。

アクセスキー 

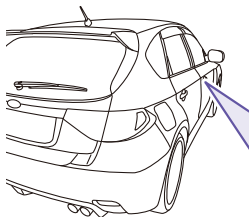
リモコンキー 



4ドア

5ドア

キーレスアクセスによるドアの施錠・解錠



解錠 アクセスキーを携帯し、ドアハンドルを握ります。全てのドア(リヤゲート含む)が解錠します。

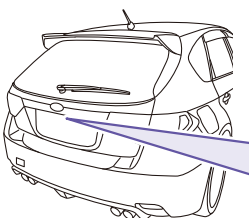


施錠 アクセスキーを携帯し、ドアハンドルのリクエストスイッチを押して施錠します。



リクエストスイッチ

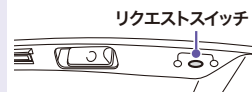
リヤゲートからの施錠・解錠 (5ドア)



解錠 アクセスキーを携帯し、リヤゲートオープナースイッチを押します。全てのドア(リヤゲート含む)が解錠しリヤゲートが開きます。

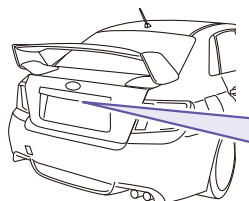


施錠 アクセスキーを携帯し、全てのドアを閉めてリクエストスイッチを押して施錠します。



リクエストスイッチ

トランクの解錠 (4ドア)



解錠 アクセスキーを携帯し、トランクオープナーリクエストスイッチを押して解錠します。

トランクオープナーリクエストスイッチ



車内から開ける

運転席右下にあるトランクオープナーレバーを引きます。



トランクオープナーレバー

ドアの施錠・解錠

盗難防止機能

盗難警報装置

キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック）以外でドア（リヤゲート含む）またはトランクが開けられたとき、車両ホーンが鳴り、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。

初期設定では作動なしになっています。※作動あり/なしの設定を変更するときは取扱説明書をご覧ください。

警報を作動させてしまったときの解除方法

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装備車〉

- ・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
- ・アクセスキーを携帯し、プッシュエンジンスイッチをAccにする。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外〉

- ・リモコンキーのいずれかのボタンを押す。
- ・エンジンスイッチをONにする。

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）

車両の盗難防止のため、キーには識別コードが登録されています。登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

キーナンバープレート/セキュリティIDプレート 

新しいキーを作るときに必要です。

※車内以外の場所に大切に保管してください。

パワーウィンドウ

ロックスイッチ

ロックスイッチを押すと助手席と後席のウィンドウは開閉できなくなります。

助手席、後席ウィンドウスイッチ

開けるとき：スイッチを押す。
閉めるとき：スイッチを引上げる。



集中ドアロックスイッチ

すべてのドア（リヤゲート含む）の施錠・解錠ができます。

運転席ウィンドウスイッチ

開けるとき：スイッチを押す。
閉めるとき：スイッチを引上げる。
強く操作すると自動で全開全閉します。

電動ガラスサンルーフ 

スライドスイッチ

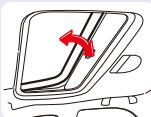
OPEN：ガラスルーフが開く。
CLOSE：ガラスルーフを閉める。
途中で止めたいとき：スイッチの前後どちらを押します。

※ワゴン車は全開手前位置で一旦停止します。再度スイッチを押すと全開まで開きます。

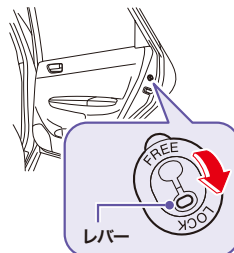


チルトスイッチ

UP：チルトアップ（上昇）する。
DOWN：チルトダウン（下降）する。
任意の位置で止めたいとき：スイッチを離す。



チャイルドブルーフ



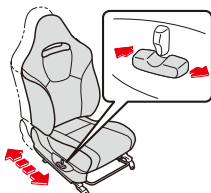
レバーを「LOCK」側に動かしてドアを閉めると、車内からリヤドアを開けられなくなります。

シートの調整

フロントシート(パワーシート)

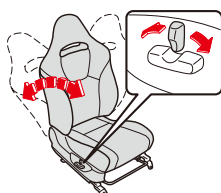
シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

前後位置の調整



スイッチ全体を前後に動かします。

リクライニング調整



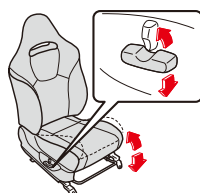
リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。

高さの調整



スイッチの後ろ側を上下に動かします。

座面前側高さの調整

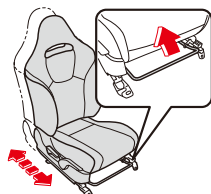


スイッチの前側を上下に動かします。

フロントシート(マニュアルシート)

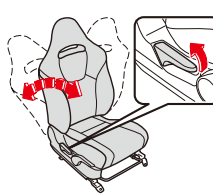
シートのドア側と下部のレバー、ダイヤル操作で調整ができます。

前後位置の調整

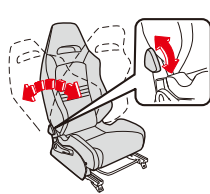


前席下部のレバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。

リクライニング調整

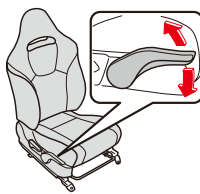


タイプ A :
レバーを完全に引き上げた状態で背当て角度を調整します。



タイプ B :
ダイヤルを回して角度を調整します。

高さの調整(運転席のみ)



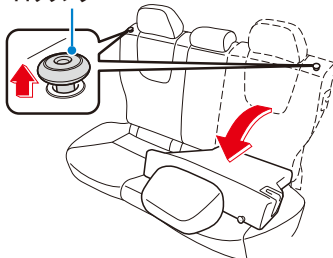
レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がります。

リヤシート

背当てを倒し、荷室を広げる

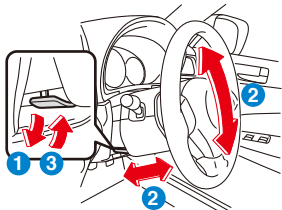
ロックノブを引き上げながら、左右に分割されているシートをそれぞれ倒します。

ロックノブ



チルト/テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。



- ①チルト/テレスコピックレバーを引き下げます。
- ②ハンドル位置を合わせます。
- ③レバーを押し上げます。
- ④ハンドルが固定されたことを確かめてください。


シートヒーター 

エンジンスイッチが Acc または ON のときダイヤルを回すとシートが暖まります。4段階の温度調整ができます。

ミラーの調整

エンジンスイッチが Acc または ON のとき、ドアミラーの調整と格納ができます。

電動格納式ドアミラー 

スイッチ  を押すとミラーが格納できます。もう一度押すと元に戻ります。

電動リモコンドアミラー

調整するミラーを選ぶ：

スイッチを「L」または「R」に回します。

ミラーの位置を調整する：

スイッチを上下左右に動かします。



イルミネーションコントロールダイヤル



コンビネーションメーター、エアコンパネル照明などの明るさを調整できます。

明るくなる：ダイヤルを上方向に回す。

暗くなる：ダイヤルを下方向に回す。

〈ブライツ(減光キャンセル)機能〉

ダイヤルを一番明るい段階から、さらに上方向(●印部分)に回すと、ライトを点灯しても表示部の明るさが減光しません。

マニュアルヘッドランプレバー 

乗車人数、荷物の積載状態に応じて、ヘッドランプの照らす高さを調節します(数字が大きいほど下向き。通常はダイヤル0の位置で使用)。

プッシュスタートシステム

電源の切り替え

オートマチック (AT) 車はブレーキペダル、マニュアル (MT) 車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が **OFF (消灯) → Acc (橙色に点灯) → ON (橙色に点灯) → OFF (消灯)** の順に切り替わります。

作動表示灯



橙色に点滅した場合: 車両の異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。

緑色に点滅した場合: ステアリングロックが解除されていません。
※解除方法は取扱説明書の「困ったときのQ&A」をご覧ください。

エンジンの始動

オートマチック(AT)車



- ① アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ② 駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ セレクトレバーが **P** であることを確認します。
- ④ プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が **緑色** になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます。
- ⑤ ブレーキペダルを踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

マニュアル(MT)車



- ① アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
- ② 駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
- ③ チェンジレバーがニュートラルであることを確認します。
- ④ ブレーキペダルを踏みます。
- ⑤ プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が **緑色** になるまで、クラッチペダルを踏み込みます。
- ⑥ クラッチペダルを踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

※強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

- ① セレクトレバーが **P** 位置 (AT車) またはチェンジレバーがニュートラル (MT車) であることを確認し、ブレーキ (AT車) またはブレーキペダルとクラッチペダル (MT車) を踏みます。
- ② アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。ブザー音 (ピッ) が鳴り、プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色に点灯します。
- ③ 作動表示灯が緑色に点灯してから5秒以内に、ブレーキペダル (AT車) またはブレーキペダルとクラッチペダル (MT車) を踏んだままプッシュエンジンスイッチを押してください。



エンジンの停止

車両を完全に停止させ、AT車はセレクトレバーを **P** 位置に入れてからプッシュエンジンスイッチを押してください。

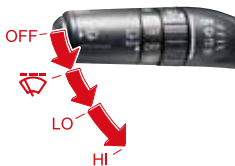
※AT車はセレクトレバーが **P** 位置以外でもエンジンは停止しますが、電源は **Acc (橙色に点灯)** になります。車両から離れるときは、電源が **OFF (消灯)** になっていることを確認してください。

※走行中プッシュエンジンスイッチを3秒以上押し続けると、エンジンが停止します。緊急時以外は本操作をしないでください。

フロントワイパー / リヤワイパー  / ヘッドランプウォッシャー 

フロントワイパー

レバーを押し下げる、または押し上げるとワイパーが作動します。エンジンスイッチが Acc または ON のときに使用できます。



OFF: 停止

 : 間欠作動

LO: 低速連続作動

HI: 高速連続作動



ミスト

レバーを手前に引いている間、ワイパーが作動します。



間欠作動の時間調整

上に回すと作動間隔が短くなり、下に回すと長くなります。




ウォッシャー液の噴射

スイッチを押している間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動します。

リヤワイパー 

エンジンスイッチが Acc または ON のとき使用できます。



 : ワイパー作動中にウォッシャー液を噴射(上側)


ON: 連続作動

INT: 間欠作動(車速に応じて変化)

OFF: 停止

 : ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動。(下側) 手を放すと「OFF」に戻ります。

ヘッドランプウォッシャー 

ヘッドランプが汚れたときに使用します。ライティングスイッチが  のとき、スイッチを1秒以上押しすと、フロントウォッシャーと連動して約1秒間作動します。


ライティングスイッチ / フォグランプスイッチ 



ライティングスイッチ

レバー内のスイッチを回すと次のようにランプが点灯します。



OFF: 消灯

 : 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

 : 上記  のときに点灯のランプに加えて、ヘッドランプが点灯

ヘッドランプの上下を切り替える

レバーを前に押しすと上向き、元に戻すと下向きになります。





パッシング(合図)のしかた

レバーを手前に引いている間、ヘッドランプは上向きになります。

※車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチをOFFにしてください。

フォグランプスイッチ 

ライティングスイッチが  または  のときに使用できます。

OFF: 消灯

 : フロントフォグランプが点灯

 : リヤフォグランプが点灯 

3 運転するとき

セレクトレバー／チェンジレバー／パドルシフト

セレクトレバー(AT車)

エンジンスイッチがONまたはエンジン回転中、ブレーキペダルを踏みながら操作します。

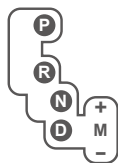


- P**：パーキング
(駐車およびエンジン始動位置)
- R**：リバース(後退位置)
- N**：ニュートラル(中立位置)
- D**：ドライブ(通常走行位置)

マニュアルモード

セレクトレバーを **D** からマニュアルゲートに動かすとマニュアルモードになります。

※詳細は取扱説明書3章をご覧ください。



チェンジレバー(MT車)

変速するときは、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで確実に操作してください。

R に入れるときはブルリングを引き上げたままレバーを操作します。



ブルリング

パドルシフト(AT車)

左側：⊖(ダウン) 右側：⊕(アップ)

1 段上のギヤに変速するときは⊕のレバーを手前に引きます。1 段下のギヤに変速するときは⊖のレバーを手前に引きます。



SI-DRIVE(SUBARU Intelligent Drive)

※SI-DRIVE は SUBARU Intelligent Drive に由来します。

SI-DRIVE※ は、3つの特性を持った走行モード、I(インテリジェントモード)、S(スポーツモード)、S#(スポーツシャープモード)を選べるシステムです。

S(スポーツモード)
SI-DRIVE セレクターを左に回します。

I(インテリジェントモード)
SI-DRIVE セレクターを押します。



S#(スポーツシャープモード)
SI-DRIVEセレクターを右に回します。

※詳細については取扱説明書をご覧ください。

クルーズコントロール

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。

CRUISE スイッチ



**RES/ACC
スイッチ**

**SET/COAST
スイッチ**

**CANCEL
スイッチ**

- 作動するとき：CRUISE スイッチを押します。
- 停止するとき：スイッチをもう一度押します。
- 速度をセットするとき：希望する車速になったとき SET/COAST スイッチを押します。
- 一時解除：ブレーキペダルを踏む、または CANCEL スイッチを押します。
- 一時解除の復帰：RES/ACC スイッチを押します。
- セット車速の調整：セット車速を上げるときは RES/ACC スイッチを、下げるときは SET/COAST スイッチを希望速度まで押し続けます。

★一部グレードのみに装着されている機能・装備については、マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。



VDC(ピークルダイナミクスコントロール)

詳細は取扱説明書 3 章をご覧ください。

マルチモード VDC(ピークルダイナミクスコントロール)
(MT車) 

VDCモード切り替えスイッチ

VDC モード切り替えスイッチを押すと、マルチモード VDC の制御モードを切り替えることができます。

モード	切り替え方法	VDCモード表示灯
トラクションモード	VDCモード切り替えスイッチを押します。	 緑色に点灯
OFFモード	VDCモード切り替えスイッチを2秒間押します。	 黄色に点灯

VDC(ピークルダイナミクスコントロール)
(AT車) 

VDC OFFスイッチ

VDC OFF スイッチを押すと、VDC(ピークルダイナミクスコントロール)が解除されます。メーター内の VDCOFF 表示灯が点灯します。作動可能状態に復帰させるときには、もう一度スイッチを押します。



黄色に点灯

VDC OFF表示灯

※通常は ON でご使用ください。OFF にする場合には取扱説明書をご覧ください。

マルチモードDCCD(ドライバーズコントロールセンターデフ) 

センターデフのインisialLSDトルクを自動または手動で調整できる機構です。

モード切り替え
スイッチ
オートモードと
マニュアルモード
を切り替えます。

C.DIFF +/-スイッチ

オートモード

各センサー信号から走行状態・路面状況を推定し、電子制御で自動的に前後輪のインisialLSDトルクを調整する機能です。C.DIFF +/- スイッチを+側に動かすと「AUTO+」になり、-側に動かすと「AUTO-」になります。

AUTO 表示灯	制御内容
AUTO ▶[+]	トラクションを重視し、センターデフの差動制限を強くした、滑りやすい路面の走行に適した制御モード。
AUTO	あらゆる走行条件をカバーするオールラウンドタイプの制御モード。
[−]◀AUTO	ステアリング応答性を重視し、センターデフの差動制限を弱くした、俊敏で軽快な走行に適した制御モード。


マニュアルモード

C.DIFF +/- スイッチを操作し、任意にインisialLSDトルクを調整できます。インisialLSDトルクは、スイッチを+側に動かすと大きくなり、-側に動かすと小さくなります。

設定されているインisialLSDトルクのレベル



インisialLSDトルク最小

 メカニカルLSD
のみの差動制限

インisialLSDトルク最大

 前後輪がほぼ直結状態

インisialLSDトルクの設定は、オートモード選択後、またはエンジンスイッチOFF後も前状態で記憶されています。バッテリーを外すと初期状態に戻ります。

※詳細については取扱説明書をご覧ください。

4 その他室内装備






エアコン/ヒーターの操作

フルオートエアコン

風量調整(ファン)ダイヤル

風量を調整できます。右に回すほど強くなります。「AUTO」では適切な風量に自動制御されます。

吹き出し口切り替えダイヤル

-  : 上半身
-  : 上半身と足元
-  : 足元
-  : 足元と窓ガラスの曇り
-  : 窓ガラスの曇り

AUTO: 自動制御

温度調整ダイヤル

室内温度を調整できます。温度を上げるときは右へ、温度を下げるときは左へ回します。



内外気切り替えスイッチ

スイッチを押して外気導入/内気循環を切り替えます。一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、外気導入と内気循環が自動制御されます。※1

リヤウインドウデフォグガー

スイッチを押すごとにON/OFFが切り替わります。約15分後に自動的にOFFになります。ヒータードリアミラーとフロントワイパーデアイサー装備車は同時に作動します。

A/C スイッチ(冷房・除湿機能)

風量調整ダイヤルがOFF以外のとき、スイッチを押すとエアコン(冷房、除湿)が作動します。一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、エアコンのON/OFFが自動制御されます。※1

※1 フルオート設定時にA/Cスイッチまたは内外気切替スイッチを押すとその機能はマニュアル作動となります。再度自動制御にするには、吹き出し口切替ダイヤルまたは風量調整ダイヤルを一旦「AUTO」以外の位置にしてから、「AUTO」位置へ戻してください。

フルオートでの使いかた








- ① 温度調整ダイヤルを希望温度に設定します。
- ② 吹き出し口切り替えダイヤルと風量調整ダイヤルを「AUTO」位置にします。

エアコン/ヒーターの操作

ヒーター

吹き出し口切り替えダイヤル

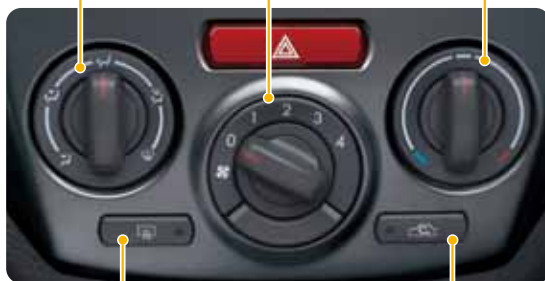
-  : 上半身
-  : 上半身と足元
-  : 足元
-  : 足元と窓ガラスの曇り
-  : 窓ガラスの曇り

風量調整(ファン)ダイヤル

風量を4段階に調整できます。数字が大きくなるほど強くなります。

温度調整ダイヤル

送風温度を調整できます。温度を上げるときは右へ、温度を下げるときは左へ回します。



リヤウインドゥデフォグガー

スイッチを押すごとにON/OFFが切り替わります。約15分後に自動的にOFFになります。

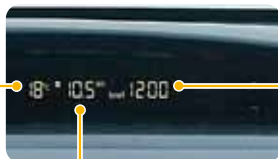
内外気切り替えスイッチ

スイッチを押して外気導入/内気循環を切り替えます。表示灯が点灯しているときに内気循環です。

インフォメーションメーター

外気温時計

外気温度を表示します。外気温度が3℃以下になると温度表示が点滅します。(路面凍結警告表示)



時計

時計表示の合わせかた「+」ボタンまたは「-」ボタンを押すと、1分ごみで時刻が切り替わります。詳細は取扱説明書をご覧ください。

インフォメーション表示

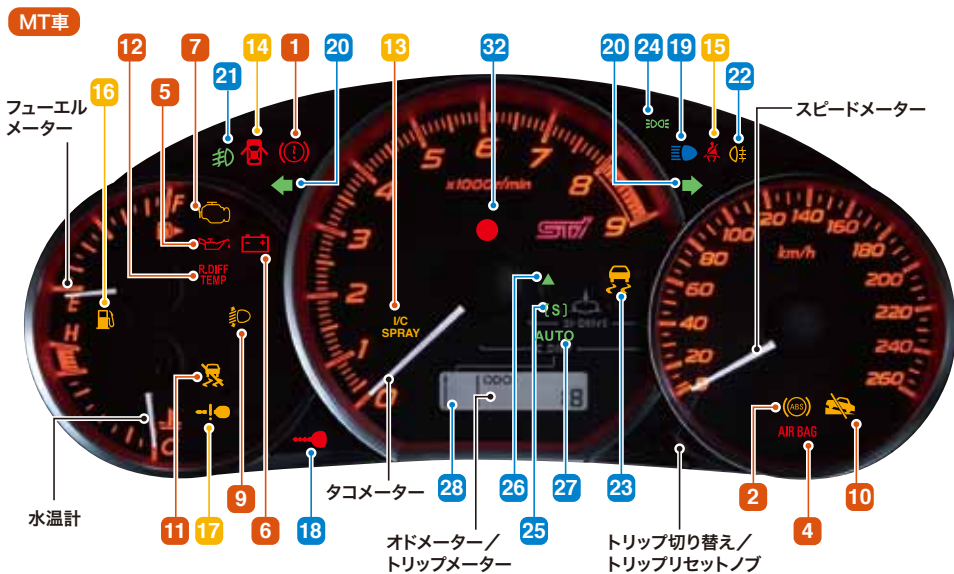
エンジンスイッチが ON のとき、メーター内のインフォメーション表示切り替えノブを押すごとに表示が切り替わります。

平均燃費計(トリップ A)

平均燃費計(トリップ B)

瞬間燃費計

5 メーター・表示灯・警告灯



※エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

- | | | |
|---|--|--|
| <p>1 ブレーキ警告灯 </p> <p>駐車ブレーキがかかっているとき、ブレーキ液量が不足しているとき、EBD 制御異常があるとき点灯。</p> | <p>2 ABS警告灯 </p> <p>アンチロックブレーキシステム (ABS) の電子制御システムに異常があるとき点灯。</p> | <p>3 AWD警告灯 (AT車) </p> <p>異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行したとき点滅。</p> |
| <p>4 SRSエアバッグ警告灯 </p> <p>エアバッグシステムに異常があるとき点灯。</p> | <p>5 オイルプレッシャー警告灯 </p> <p>エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。</p> | <p>6 チャージ警告灯 </p> <p>充電系統に異常があるとき点灯。</p> |
| <p>7 エンジン警告灯 </p> <p>エンジン電子制御システム異常時点灯。触媒を損傷する可能性があるとき点滅。</p> | <p>8 AT油温警告灯 (AT車) </p> <p>オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなると点灯。異常時に点滅。</p> | <p>9 オートヘッドランプレベラー警告灯 </p> <p>オートヘッドランプレベラー (自動光軸調整機構) のシステム異常時に点灯。</p> |
| <p>10 ヒルスタートアシスト警告灯 / ヒルスタートアシストOFF表示灯 (MT車) </p> <p>警告灯: ヒルスタートアシストの制御システム異常時に点灯。
表示灯: ヒルスタートアシストを解除したときに点灯。解除方法は取扱説明書参照。</p> | <p>11 VDC警告灯 / VDCモード表示灯 (MT車) VDC警告灯 / VDC OFF表示灯 (AT車) </p> <p>警告灯: VDC の制御システム異常時に点灯。
VDC モード表示灯: マルチモードVDC 装着車 (MT車) にあり。トラクションモードのとき緑色、OFF モードのとき黄色点灯。
VDC OFF 表示灯: VDC 装着車にあり。VDC OFF スイッチを押し VDC 解除したとき点灯。</p> | |
| <p>12 リヤデフ油温警告灯 (MT車) </p> <p>リヤデフの油温が上昇したとき点灯。</p> | <p>13 インタークーラーウォーター スプレー残量警告灯 </p> <p>インタークーラーウォータースプレインクの水量が少なくなると点灯。</p> | <p>14 半ドア警告灯 </p> <p>エンジンスイッチの位置に関係なくドア、リヤゲート、トランクが完全に閉じていないとき、点灯。</p> |
| <p>15 シートベルト警告灯 </p> <p>エンジンスイッチが ON のとき、運転者がシートベルトを装着していないと点灯、シートベルトを装着すると消灯。</p> | <p>16 燃料残量警告灯 </p> <p>エンジンスイッチが ON のとき、燃料残量が約 9ℓ 以下になると点灯。</p> | <p>17 キー無し警告灯 </p> <p>車内にアクセスキーがない場合に点滅。</p> |

★グレードにより装備されていない機能もありますが、レイアウト上全ての表示灯・警告灯を記載しています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

AT車



18 セキュリティ表示灯

盗難防止機能がはたらいているときに点灯／点滅します。詳しくは取扱説明書を参照。

19 ハイビーム/パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きするとき点灯。パッシング時も点灯。

20 方向指示器表示灯

方向指示器の点滅を表示。電球切れ、ワット数の異なる電球使用時に点滅速度が早くなる。

21 フロントフォグランプ表示灯

フロントフォグランプが点灯しているとき点灯。

22 リヤフォグランプ表示灯

リヤフォグランプが点灯しているとき点灯。

23 VDC 作動表示灯

VDC 作動時は点滅。TCS 機能作動時は点灯。

24 ライティングスイッチ表示灯

ライティングスイッチがD0またはD位置のとき点灯。

25 SI-DRIVE表示灯

SI-DRIVEで選択されているモードが表示されます。

26 シフトアップ表示灯(MT車)

SI-DRIVEで(インテリジェントモード)を選択している場合、燃費効率の良い運転ができるように、シフトアップのタイミングを点滅してお知らせ。

27 DCCDオートモード表示灯(MT車)

マルチモード DCCD でオート制御中に点灯。

28 DCCDマニュアルモード表示(MT車)

マルチモード DCCD でマニュアルモードのときインシヤル LSD トルクの目安を表示。DCCD 異常時には点滅。

29 クルーズコントロール表示灯(AT車)

クルーズコントロールのメインスイッチを押すと表示。

30 クルーズコントロール車速セット表示灯(AT車)

クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、速度を設定したとき表示。

31 Info-ECO(インフォ・エコ)表示灯(AT車)

SI-DRIVEで(インテリジェントモード)を選択していて、燃費の良い走行状態のときに点灯。

32 REVインジケーター(MT車)

任意に設定したエンジン回転数になったことを点灯とブザーでお知らせ。設定方法は取扱説明書を参照。

1～13 異常時に点灯／点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。

14～17 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

18～32 各装置の状態を示します。

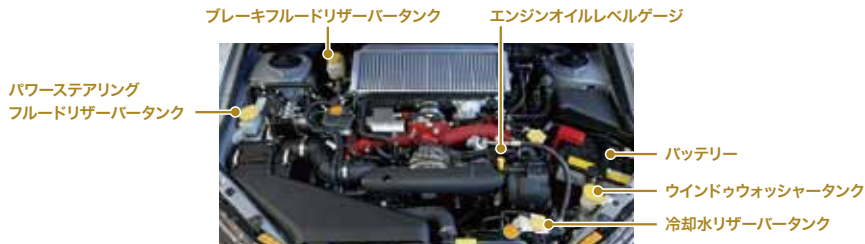
※エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

日常点検

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法はメンテナンスノート4章をお読みください

エンジンルーム内 下記の項目の内容量を点検してください。



車のまわり

●タイヤの空気圧 / き裂、損傷、異常摩耗がないか / 溝の深さを点検します。

🔥 4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一レッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

運転席に座って

- 駐車ブレーキ機構の引きしろを点検します。
- エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
- ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
- ウインドウウォッシャーの噴射状態を点検します。
- ワイパーの払拭状態の点検をします。

走行して

- ブレーキのきき具合を点検します。
- エンジンの低速および加速状態を点検します。
- 運行において異常が認められた箇所を点検します。

困ったときは

取扱説明書の「困ったときのQ&A」を参照してください。取扱説明書に記載がある方法で対処しても作動しない、改善しないときは、スバル販売店にご連絡ください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUコール  **0120-052215**

受付時間 【平日】 9:00～17:00
【土日祝】 9:00～12:00、13:00～17:00

※平日の12:00～13:00および土日祝は(1)のインフォメーションサービスのみとなります。

SUBARUお客様センター

富士重工業株式会社
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
(1) ご意見／ご感想／ご案内 (カタログ、販売店、転居お手続 他)
(2) お問い合わせ／ご相談

お問い合わせ先スバル販売店

●スバル最新情報をインターネットで。 www.subaru.jp

Publication No. F1150JJ-A

発行 2012年6月 Printed in Japan NK

富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター